販売用資料 | 2025.3

野村世界業種別投資シリーズ

世界半導体株投資

追加型投信／内外／株式

R&I ファンド大賞 2024
投資信託／テクノロジー関連外国株式部門
最優秀ファンド賞

LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2024
投資信託部門（評価期間：3年）／株式型 業種別 IT
最優秀ファンド賞

当ファンドは特化型運用を行ないます。

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

池田泉州TT証券
SIHD

商　　号：池田泉州TT証券株式会社
金融商品取引業者　近畿財務局長（金商）第370号
加入協会：日本証券業協会

設定・運用は

NOMURA
野村アセットマネジメント

商　　号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

後述の〈当資料について〉〈お申込みに際してのご留意事項〉および〈当ファンドの投資リスク〉を必ずご覧ください。

半導体、それは技術進化を支える欠かせない存在

当ファンドのポイント

1 成長性の高い半導体関連株に投資

半導体市場は技術の進歩により、過去数十年にわたって大きく拡大してきた歴史があります。
今後の技術革新に伴い、さらなる成長が期待されます。

2 半導体関連株の中でも確信度の高い銘柄に注目して投資

各国･地域のマクロ投資環境見通しを考慮しつつ、技術力、価格決定力、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行ない、確信度の高い銘柄に注目して投資します。

3 長期の運用実績

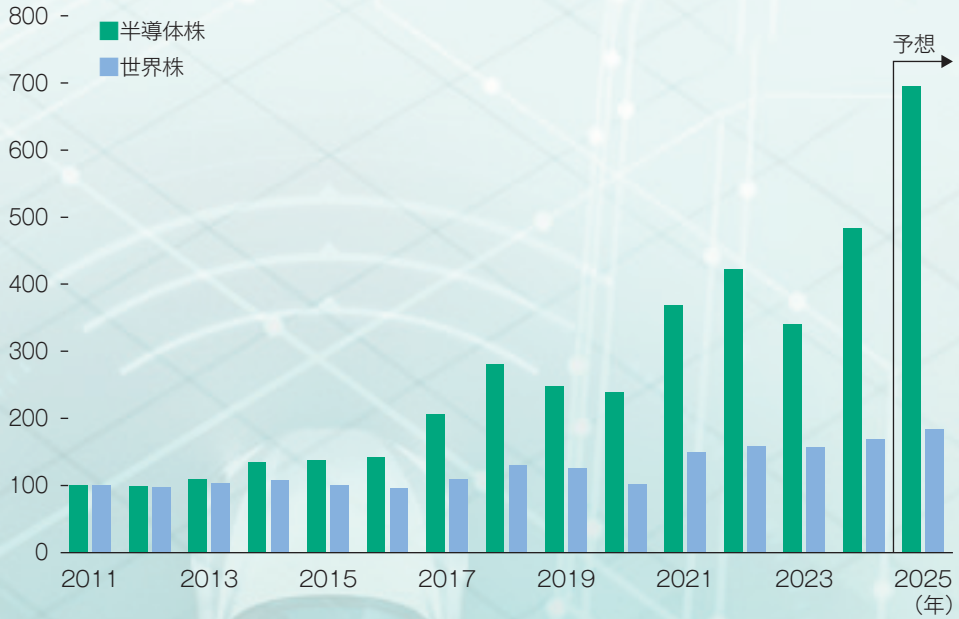
当ファンドは2009年8月27日に設定され、長期にわたって実績を残しています。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

生成AI向けなどの旺盛な需要を追い風に半導体株の業績は拡大傾向

EPS（1株当たり利益）の推移

（2011年~2025年、年次）



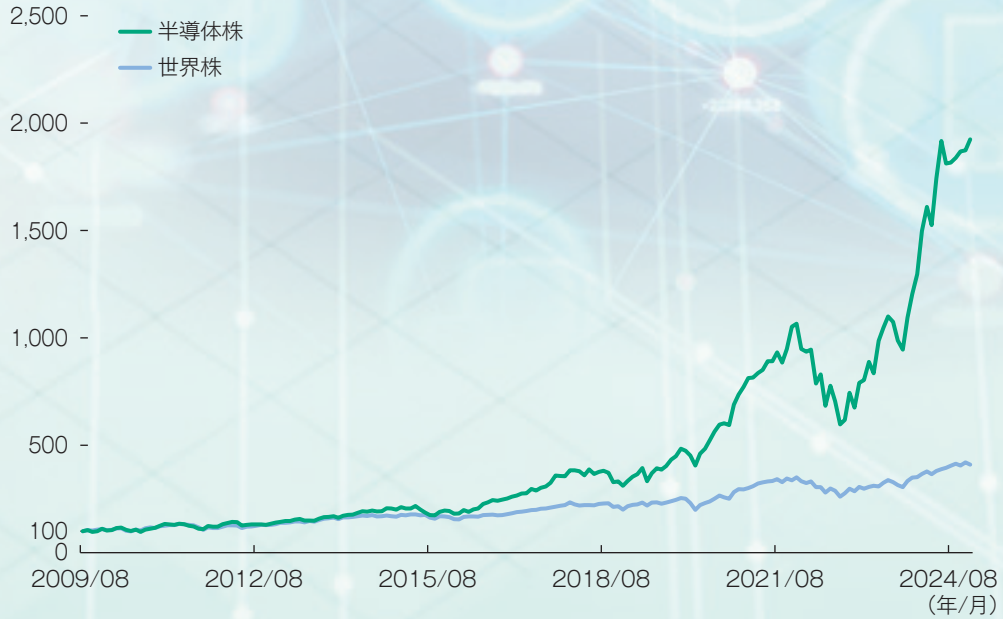
2011年を100として指数化
2025年はブルームバーグの予想（2025年2月3日時点）
半導体株:MSCI All Country World Semiconductors & Semiconductor Equipment
世界株:MSCI All Country World Index

（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

半導体株のパフォーマンスは世界株を大きく上回って推移

株価指数の推移

（2009年8月末~2024年12月末、月次）



2009年8月末を100として指数化
半導体株:MSCI All Country World Semiconductors & Semiconductor Equipment（税引後配当込み・米ドルベース）
世界株:MSCI All Country World Index（税引後配当込み・米ドルベース）

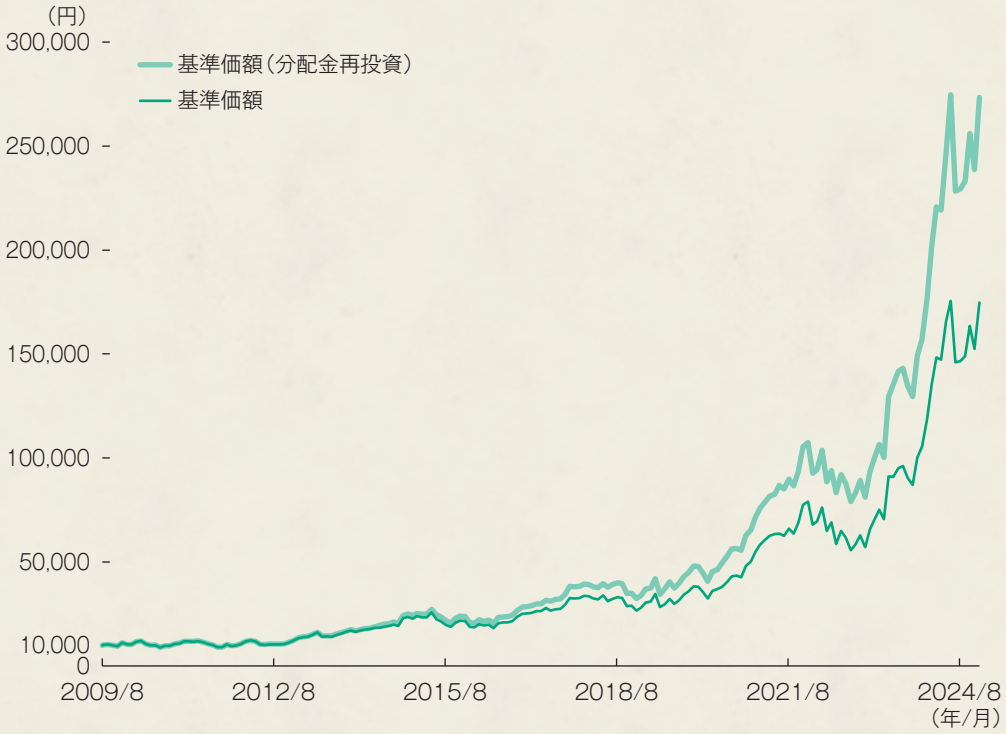
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界半導体株投資の推移と上位銘柄の変遷

◆ 半導体株は、景気が拡大する局面で成長が期待できるシクリカルグロースという景気敏感株のひとつです。短期的に景況感の影響を受けるものの、長期的にはテクノロジーの発展に必要な業種であり、今後の大きな成長が見込まれます。

基準価額の推移

（2009年8月26日（設定日前日）～2024年12月末、月次）



設定時
携帯電話やスマートフォンなどの新製品の発売を控えていたことや、マイクロソフト社の「Windows 7」や超薄型PCなどが半導体需要を喚起すると期待されていました。

現 在
AI（人工知能）用途や通信（インフラ）、先進運転システム向けなどの用途に中長期的な成長が見込まれる分野として注目しています。

上位10銘柄の変遷

	設定時（2009年9月末）		現在（2024年12月末）
1	サムスン電子	1	エヌビディア
2	インテル	2	ブロードコム
3	TSMC/台湾セミコンダクター	3	TSMC/台湾セミコンダクター
4	テキサス·インスツルメンツ	4	ASMLホールディング
5	アプライド・マテリアルズ	5	クアルコム
6	メディアテック	6	マーベル・テクノロジー
7	SKハイニックス	7	マイクロン・テクノロジー
8	マイクロン·テクノロジー	8	KLA
9	マーベル·テクノロジー·グループ	9	ASMインターナショナル
10	エヌビディア	10	メディアテック

＊銘柄名称は、現時点のものを使用

設定日前日を10,000円として算出。
基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用·税金等は考慮しておりません。
上記はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買等の推奨、また価格等の上昇や下落を示唆するものではありません。

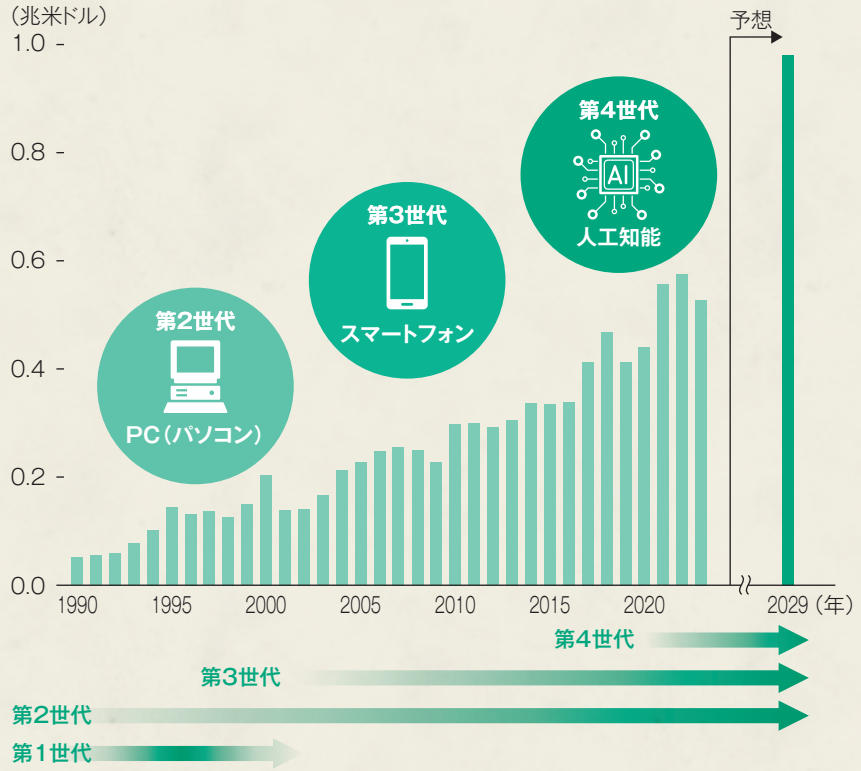
上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

半導体は1兆米ドルに迫る市場へ

- 半導体市場は2029年に1兆米ドルに迫る市場へ成長すると予想されています。
- 半導体市場は、業務用の大規模な基幹システムなどで使用される大型コンピューターを第1世代とし、PC・インターネットに代表される第2世代、スマートフォンなどの第3世代、AI（人工知能）などの第4世代と技術の進歩によって大きく市場が拡大してきた歴史があります。今後は、自動運転による利用拡大、AI搭載ロボットや工場によるデータ量の増加に伴うサーバーやデータセンターなどの需要が大きく拡大するとみられます。

半導体市場規模の推移

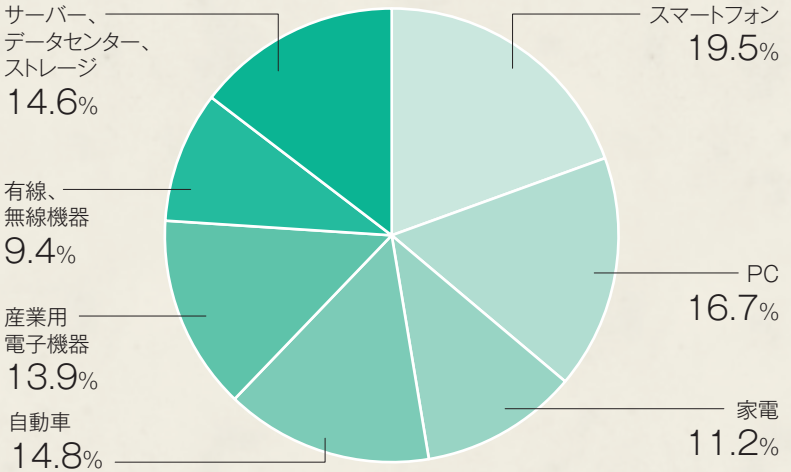
（1990年～2029年）



2029年はStatistaの予想。イラストは各世代のイメージです。
（出所）アプライドマテリアルズ、WSTSおよびSIA（1990年～2023年）、Statista（2029年）のデータに基づき野村アセットマネジメント作成

（ご参考）2023年の半導体用途別比率

- 半導体はスマートフォンやPC、自動車、家電といった生活に身近なものから、サーバーやデータセンターといった社会のインフラに関連したものまで、幅広い用途で活用されています。



（出所）ASMLのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

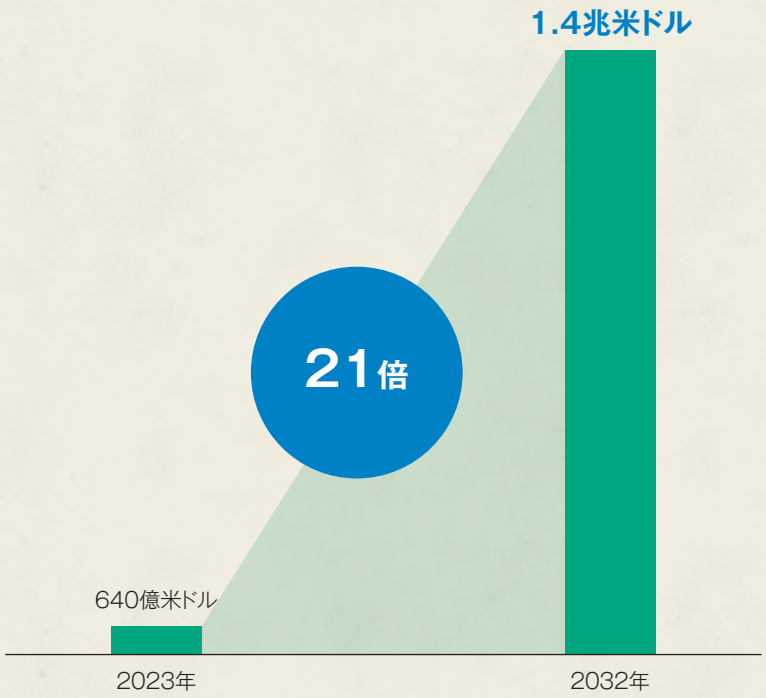
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

半導体需要を押し上げる新しいテクノロジー

- 生成AIの市場規模は2032年までに1.4兆米ドルまで成長すると予想されています。生成AIは、GPU（画像処理半導体）など高度なデータ処理機能を有する半導体を必要とすることから、半導体需要を押し上げる要素として考えられています。
- AI技術の進化に伴う、IoT（Internet of Things モノのインターネット化）接続デバイス数の増加などが、さらなる半導体需要の拡大につながると期待されます。

生成AIの市場規模

（2023年と2032年を比較）



2032年はブルームバーグの予想。
出所：ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成
＊生成AI:AIの一種で、自動的に新たなデータや情報を生成する能力を持つシステムのこと。

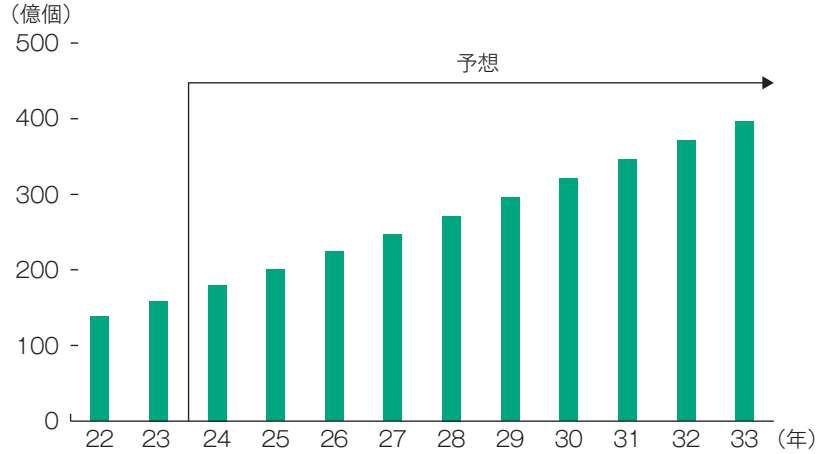
コラム

世界のIoT接続デバイス数の増加で半導体需要も拡大へ

- パソコンやスマートフォン以外に、家電や車などもインターネットとの接続が可能となってきており、今後もIoT接続デバイス数は増加する見込みです。
- IoT接続デバイスにも半導体が使われているため、IoT接続デバイスの増加が半導体需要の拡大を後押しすると考えられます。

世界のIoT接続デバイス数の推移

（2022年～2033年）

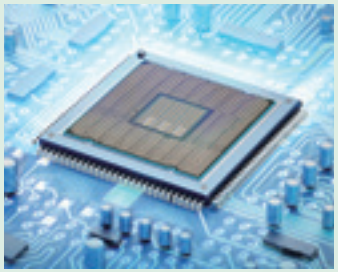


2024年以降はTransforma Insightsによる予想。
（出所）Transforma Insightsのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

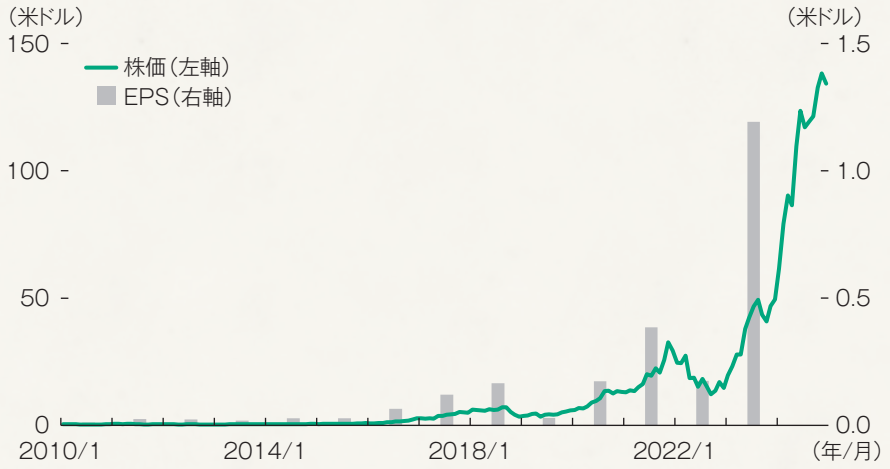
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

銘柄紹介

エヌビディア(米国)

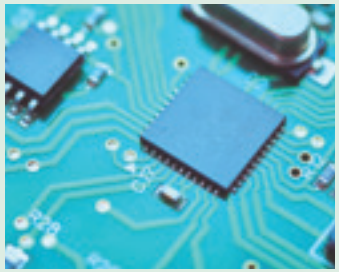


- AI開発に欠かせないデータセンター向け高性能GPU(画像処理半導体)を提供する世界的な半導体メーカー。ゲームや映画での美しいグラフィックスを可能にしたプロセッサー技術からスタートし、データセンター向けに領域を拡大した。
- 同社の技術はAIや自動運転などの高成長が期待される分野で極めて重要な役割を担っており、中長期的な成長が期待される。

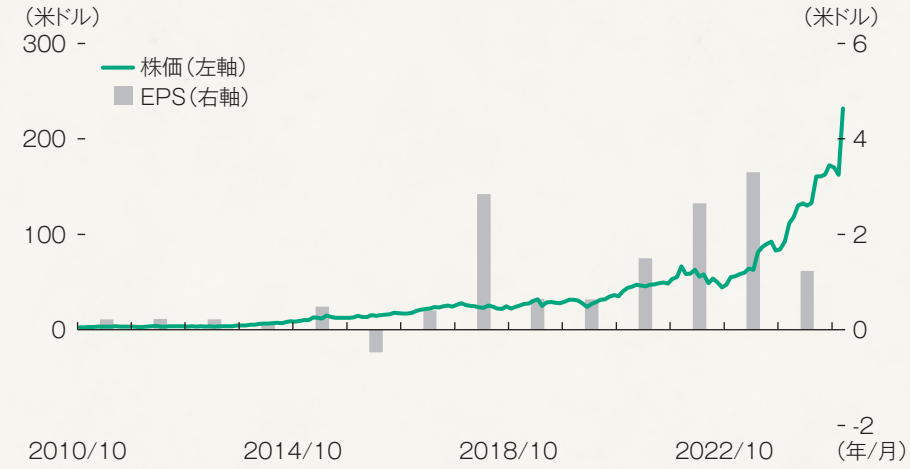


期間:【株価】2010年1月末～2024年12月末、月次。
【EPS】2011年1月期～2024年1月期、年次。

ブロードコム(米国)



- 大手半導体メーカー。高性能な通信機器向け半導体のほかインフラやセキュリティ関連ソフトウェアなどの事業も手掛ける。
- クラウド化の進展や自動運転の普及、高精細な映像コンテンツの増加など高速通信ネットワークへの負荷は構造的に高まっており、同社の提供する高性能な半導体の需要が増加している。



期間:【株価】2010年10月末～2024年12月末、月次。
【EPS】2011年10月期～2024年10月期、年次。

(出所)ブルームバーグのデータ等に基づき野村アセットマネジメント作成

ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの特色①

当資料では、「世界半導体株投資」についてご説明しています。

ファンドの特色

『野村世界業種別投資シリーズ』は、4本のファンドとマネープール・ファンドから構成されています。

以下、マネープール・ファンドを除く4つのファンドを総称して「各ファンド」といいます。

＊販売会社によりお取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

1 各ファンドは、世界各国の株式※1を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

※1 各ファンドにおける株式とは、それぞれ「金融株」、「半導体株」(「半導体関連企業の株式」)、「資源株」(「資源関連企業の株式」)、「ヘルスケア株」(「ヘルスケア関連企業の株式」)のことを指します。

◆ 株式への投資にあたっては、各国・地域のマクロ経済見通し等を考慮しつつ、利益構造、財務内容などの観点から個別銘柄のファンダメンタルズ分析を行ない、組入銘柄を決定します。各ファンドの主要投資対象およびベンチマークは以下の通りです。

世界金融株投資	主要投資対象：世界各国の金融株 優先株等普通株以外の株式、または当該企業に出資をするために発行されるその他の有価証券に投資を行なう場合があります。 ファンドにおいて「金融株」とは、銀行、各種金融サービス、保険等の企業の株式を指します。 ＊ファンドは、日本を含む世界各国の金融株を主要投資対象としますが、日本において「証券業」を行なう上場会社の数が少ないこと、およびその中でも委託会社の親会社である「野村ホールディングス株式会社」が発行する普通株式の時価総額が相対的に大きいことを勘案して、「野村ホールディングス株式会社」が発行する普通株式の当ファンドにおける株式ポートフォリオ内の時価総額比率が、ベンチマークであるMSCI All Country World Financials における当該会社株式が占める比率と原則として概ね同じ比率となるよう投資を行なうことを基本とします。 ベンチマーク：MSCI All Country World Financials(税引後配当込み・円換算ベース)※2
世界半導体株投資	主要投資対象：世界各国の半導体株 ファンドにおいて「半導体株」とは、半導体、半導体関連製品および半導体製造装置の製造・販売を行なっている企業の株式を指します。 ベンチマーク：MSCI All Country World Semiconductors & Semiconductor Equipment(税引後配当込み・円換算ベース)※2
世界資源株投資	主要投資対象：世界各国の資源株 ファンドにおいて「資源株」とは、資源およびエネルギーの開発、加工、販売および関連するサービスなどを提供する企業の株式を指します。 ベンチマーク：MSCI All Country World Energy & Materials(税引後配当込み・円換算ベース)※2
世界ヘルスケア株投資	主要投資対象：世界各国のヘルスケア株 ファンドにおいて「ヘルスケア株」とは、医薬品、バイオテクノロジーの研究、開発、製造に関連する企業や、医療用機器・器具等の製造、医療・介護サービスなどの提供を行なっている企業の株式を指します。 ベンチマーク：MSCI All Country World Health Care(税引後配当込み・円換算ベース)※2

※2 円換算ベースは各指数の米ドルベースをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

◆ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
◆ 運用にあたっては、「ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッド」(英国ロンドン市)に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
◆ 株式の組入比率は、原則として高位を基本とします。ただし、現地市場が休場等の場合や市況動向によっては、一時的に株式組入比率を引き下げる場合があります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの特色②／投資リスク

当資料では、「世界半導体株投資」についてご説明しています。

ファンドの特色

2 マネープール・ファンドは、円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象※3とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

※3「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー　マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

世界半導体株投資は、一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められている「特化型運用」を行なうファンドに該当します。
世界半導体株投資が投資対象とする世界各国の半導体関連企業の株式市場には、寄与度（市場の時価総額に占める割合）が10%を超える、もしくは超える可能性が高い銘柄（支配的な銘柄）が存在すると考えられます。
投資が支配的な銘柄に集中することが想定されますので、当該支配的な銘柄の発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化等が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

当ファンドの投資リスク　ファンドのリスクは下記に限定されません。

各ファンドは、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
「マネープール・ファンド」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

≪基準価額の変動要因≫　基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

各ファンド

◆**株価変動リスク**：ファンドは株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。また、ファンドは、特定の業種に絞った株式に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い業種・銘柄に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。
◆**為替変動リスク**：ファンドは、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。

マネープール・ファンド

◆**債券価格変動リスク**：債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。

当資料では、「世界半導体株投資」についてご説明しています。

投資リスク

≪その他の留意点≫

● ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止等となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性等があります。
- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ファンドが組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。
- 有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

  投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

  分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

- 各ファンドに関する留意点
  - ・世界半導体株投資においては、投資対象とする業種内における銘柄数が少ないため、特定の銘柄の組入比率が高位となる投資を行なうことや、時価総額の小さい銘柄に投資を行なうことがあります。したがって、本来想定される投資価値とは乖離した水準で対象株式が取引され、基準価額が大きく変動する場合があります。
  - ・世界半導体株投資の投資対象候補銘柄には、寄与度が高い銘柄、または寄与度が高くなる可能性のある銘柄が存在すると考えられます。そのため、当ファンドは信用リスクを適正に管理する目的で一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」における「特化型運用」を行なうファンドに該当します。当該制限に従って「特化型運用」を行なうにあたり、特定の発行体が発行する銘柄に集中して投資することがありますので、個別の投資対象銘柄の発行体の経営破綻や経営・財務状況の悪化等による影響を大きく受ける可能性があります。
  - ・ベンチマークは、市場の構造変化等によっては今後見直す場合があります。また、ベンチマークに対して一定の投資成果をあげることを保証するものではありません。
- マネープール・ファンドに関する留意点
  - ・投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴なう売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。
  - ・マイナス利回りの資産への投資等を通じてファンド全体の損益がマイナスとなった場合は、ファンドの基準価額が下落することが想定されますのでご留意ください。

当資料について／お申込みに際してのご留意事項／その他

当資料では、「世界半導体株投資」についてご説明しています。

＜当資料について＞

- 当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

＜お申込みに際してのご留意事項＞

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ファンドの分配金は、投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- **お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。**

当資料で使用した指数について

MSCI All Country World Index、MSCI All Country World Semiconductors & Semiconductor Equipmentは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

R&I ファンド大賞 2024

R&I ファンド大賞 2024 投資信託部門 最優秀ファンド賞 R&I Fund Award 2024
R&I ファンド大賞 2024 3年連続受賞

投資信託／
テクノロジー関連外国株式部門
最優秀ファンド賞

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2024

LSEG Lipper Fund Awards 2024 Winner Japan

投資信託部門（評価期間：3年）／
株式型 業種別 IT
最優秀ファンド賞

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。
選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間 3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドに LSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。
詳しい情報は、lipperfundawards.com をご覧ください。LSEG Lipper は、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

上記は過去の一定期間の実績が評価されたものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

お申込みメモ／当ファンドに係る費用／課税関係 他

当資料では、「世界半導体株投資」についてご説明しています。

お申込みメモ

●信託期間		「世界金融株投資」「世界資源株投資」「マネープール・ファンド」 2027年6月28日まで（2009年8月27日設定） 「世界半導体株投資」「世界ヘルスケア株投資」 無期限（2009年8月27日設定）
●決算日および収益分配		年1回の毎決算時（原則、6月28日（休業日の場合は翌営業日））に、分配の方針に基づき分配します。
ご購入時	●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	●ご購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
	●ご購入単位	ご購入単位は販売会社によって異なります。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
	＊「マネープール・ファンド」はスイッチング以外によるご購入はできません。	
ご換金時	●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額 （「マネープール・ファンド」には信託財産留保額はありません。）
	●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して6営業日目から販売会社でお支払いします。
	●ご換金制限	1日1件10億円を超えるご換金は行なえません。 なお、別途換金制限を設ける場合があります。
その他	●スイッチング	『野村世界業種別投資シリーズ』を構成する5本のファンド間でスイッチングが可能です。 ＊販売会社によっては、スイッチングのお取り扱いを行なわない場合があります。
	●お申込不可日（「各ファンド」）	
	販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。 ●ロンドンの銀行　●ニューヨーク証券取引所	
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。「世界半導体株投資」、「世界ヘルスケア株投資」は、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。「世界金融株投資」、「世界資源株投資」、「マネープール・ファンド」は、NISAの対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	

※お申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

当ファンドに係る費用

（2025年3月現在）

●ご購入時手数料

ご購入価額に3.3%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

＜スイッチング時＞
各ファンド（「マネープール・ファンド」を除く）へのスイッチングによるご購入は、ご購入価額に販売会社が独自に定める率を乗じて得た額

「マネープール・ファンド」へのスイッチングによるご購入は、無手数料
＊販売会社によっては、スイッチングのお取り扱いを行なわない場合があります。

●運用管理費用（信託報酬） ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。

各ファンド	純資産総額に年1.65%（税抜年1.50%）の率を乗じて得た額
「マネープール・ファンド」	純資産総額に年0.605%（税抜年0.55%）以内（2025年2月末現在年0.33%（税抜年0.30%））の率を乗じて得た額

●その他の費用・手数料 ファンドの保有期間中に、その都度かかります。
（運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。）

・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料
・外貨建資産の保管等に要する費用（「マネープール・ファンド」を除く）
・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
・ファンドに関する租税　　等

●信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）

各ファンド	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額
「マネープール・ファンド」	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

〈委託会社〉**野村アセットマネジメント株式会社**［ファンドの運用の指図を行なう者］

〈受託会社〉**野村信託銀行株式会社**［ファンドの財産の保管および管理を行なう者］

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：
野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル
0120-753104 <受付時間>営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ
https://www.nomura-am.co.jp/